

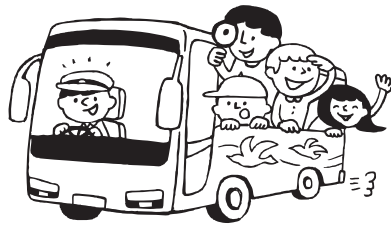


井上ひさしと

吉野作造をつなぐ旅

—仙台・古川バスツアー—

2017年3月4日(土) 9:30~16:00



SMMA見験楽学ツアー



【発行・連絡先】

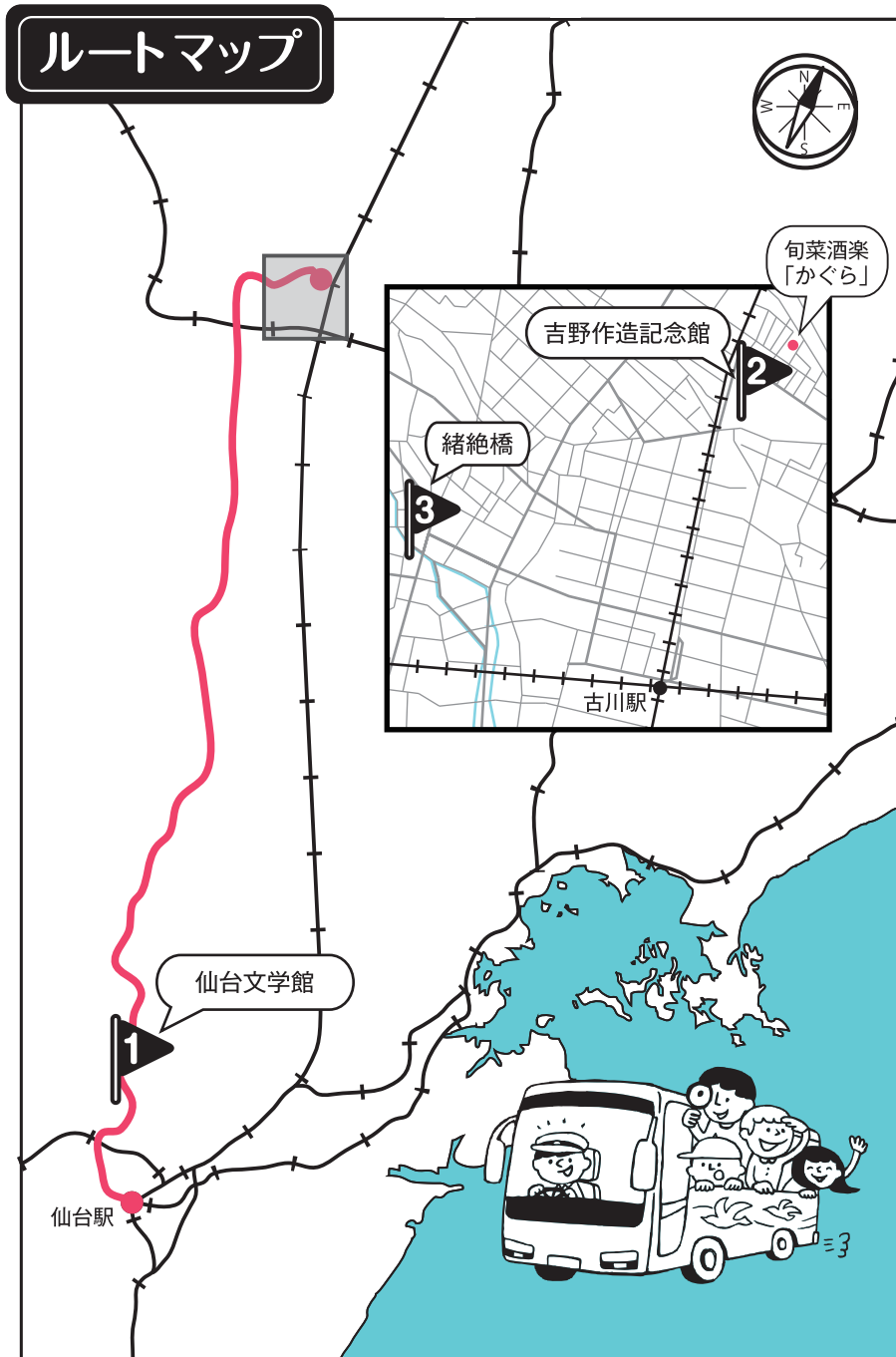
仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)

TEL 022-713-4483 / FAX 022-713-4482

E-mail office@smt.city.sendai.jp

SMMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス



仙台文学館 今後のイベント

企画展「ドラマ・ウィズ・ミュージック～井上ひさしの音楽世界」の関連イベントをご紹介します。

申込方法はいずれも、電話もしくはFAXで仙台文学館へご連絡ください。

FAXの場合は、イベント名・日時・名前・電話番号を明記してください。

トークイベント「ひさしさんと音楽」

中学校時代から鍛えたハーモニカの腕前、イタリア旅行での音楽に関するエピソード、音楽劇創作時のこぼれ話……音楽に対する井上ひさしの深い愛と造詣、そして井上家の日々の生活に音楽がどのように息づいていたかなど、最も身近に過ごしたユリ夫人が語ります。

出演：井上ユリ(井上ひさし夫人・料理教師)

聞き手：当館学芸員

日時：3月5日(日)13:30～14:30

会場：仙台文学館 講習室

定員：100名(先着) ※展示観覧券の半券をご提示ください。

ミニ合唱コンサート「井上ひさしが作詞した音楽たち」

指揮者・伴奏者・ピアニストとして活動され、仙台第一高等学校時代から井上ひさしの友人でもあった大泉勉氏をお迎えし、井上が作詞した校歌などの楽曲を合唱でお楽しみいただきます。また曲間には、井上との思い出についてお話しいたします。

指揮：大泉勉(宮城教育大学名誉教授)

合唱：いずみオッチェンコール

日時：3月19日(日)13:30～14:30

会場：仙台文学館 1階エントランスホール

定員：50名(先着) ※入場は無料です。

吉野作造記念館 今後のイベント

17年度前期企画展「子育ての昔と今」

期間 2017年5月28日(日)～8月6日(日) ※予定

仙台・宮城ミュージアムアライアンス (SMMA)

仙台・宮城地域のさまざまな博物館が共通の知的資源として協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを累積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指して活動しています。

www.smma.jp

SMMA参加館

社会福祉法人共生福祉会 福島美術館



仙台の実業家・福島家3代が収集した作品約3000点を収蔵。伊達家旧蔵品、宮城県や福島家に縁のある作品を元に企画展を開催します。

仙台うみの杜水族館



豊かな日本の海や自然環境を体感できる大水槽、海の生きものたちによる東北最大級のパフォーマンスなど様々なコンテンツを有する水族館です。

せんだい3.11メモリアル交流館



東日本大震災の記憶と経験を媒介に、コミュニケーションを通じて知恵と教訓を紡ぎだし、未来へ、世界へとつないでいく拠点です。

スリーエム仙台市科学館



緑豊かな台原森林公園内に建ち、自然史系、理工系、生活系の3つの展示室のほか、岩石や植物の屋外展示もあります。

仙台市縄文の森広場



山田上ノ台遺跡で発掘された縄文時代のムラを、植生環境とともに復元しています。土器づくりなどの体験活動を実施しています。

仙台市天文台



口径1.3mの「ひとみ望遠鏡」やプラネタリウム、天文展示室等を備えた総合天文博物館です。

地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)



富沢遺跡から発見された2万年前の人間の生活跡と森林跡を保存し、公開しています。

仙台市博物館



伊達家寄贈文化財をはじめ、仙台に関わる歴史・文化・美術工芸資料等を収蔵し、常設展では随時約1,000点を展示しています。

仙台市八木山動物公園



世界各地に生息する約500点の動物たちを飼育・展示している東北最大の動物園です。

仙台市歴史民俗資料館



県内最古の洋風木造建築である旧陸軍兵舎を利用し、明治時代以降の仙台の歴史と人々の暮らしを紹介しています。

仙台文学館



明治以降の郷土ゆかりの文学者、土井晩翠や島崎藤村をはじめ、井上ひさし初代館長や現在活躍中の作家を紹介しています。

せんだいメディアテーク



図書館、ギャラリー、スタジオ、映像音響ライブラリーなどの機能を備えた、市民の美術や映像文化の活動拠点です。

東北学院大学博物館



東北学院大学の歴史・文化に関する研究成果をもとに、様々な展示・企画を行う大学博物館。学芸員養成の場としての役割も担う。

東北大学総合学術博物館



大学の研究者たちが世界中から集めた珍しい化石や鉱物、土器や石器、骨格標本、有孔虫、サンゴなどを展示しています。

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館



人間国宝(型絵染)で日本を代表する染色工芸家芹沢銈介の作品と、氏が収集した世界の工芸品を紹介しています。

東北福祉大学・鉄道交流ステーション



東北福祉大学が運営する駅前の鉄道資料館。鉄道をテーマにした企画展と模型館を中心に広く一般の方にも大学をご利用いただけます。



見どころ

ツアーの登場人物たち

【井上ひさし(1934~2010)】

『ひょっこりひょうたん島』や『吉里吉里人』の作者として知られる作家・井上ひさしは、山形県東置賜郡小松町(現:川西町)で生まれました。中学3年の秋、仙台の光ヶ丘天使園(現:ラサール・ホーム)に入った井上は、翌年仙台一高に入学、卒業まで仙台で過ごします。上智大学卒業後は、放送作家として創作活動をスタートし、戯曲や小説を次々に執筆。持ち前の批評精神を生かしたその作風から、「現代の戯作者」と呼ばれました。

【吉野作造(1878~1933)】

「民本主義」を唱えたことでも知られる吉野作造は、宮城県志田郡大柿村(現:大崎市古川)の糸綿商吉野屋の長男として生まれました。教育熱心な両親のもとで育った吉野は、欧州留学から帰国したのち、「古川学人」の名で政治評論を発表しながら、東京帝国大学の教授として政治学を教えます。日本の民主政治の実現に情熱を燃やし、ときに借金を背負いながら社会事業に力を注いだ吉野は、自らを理想主義と宣言し、生涯その思想を貫きつづけました。

【井上ひさしと吉野作造】

仙台一高出身の井上にとって、吉野は先輩にあたります(吉野が通っていたのは、前身の宮城県尋常中学校)。1998年に吉野作造記念館の名誉館長に就任した井上は、日本の政治と将来を考え続けた吉野に共感を寄せており、母校の大先輩にして「日本デモクラシーの先達」である吉野について「なにか書かなくては」と願っていたといいます。その思いは、吉野の半生を描いた評伝劇『兄おとうと』として結実し、2003年に紀伊國屋ホールで初演されました。



見どころ



1

仙台文学館

井上ひさしが初代館長を務めた仙台文学館は、郷土ゆかりの文学者を中心にその作品や関連資料を収集・保存し、調査研究や展示などの活動を通じて、近代文学資料を一般に公開すること、および文学を普及振興し、地域文化の発展に寄与することを目的として開館しました。台原森林公園に隣接した自然ゆたかな土地で、地域の人々や文学に関心を持つ人々に広く親しまれる文学館を目指して、展示や講演会を開催しています。

2

吉野作造記念館

吉野作造記念館は、大正デモクラシー運動のオピニオンリーダーとして知られる宮城県古川出身の政治学者・吉野作造の顕彰・研究施設として、1995年に開館しました。吉野作造は政治学者として「民本主義」(デモクラシー)を世に広めつつ、東アジアの相互理解からYMCAを通じた社会福祉活動まで、人々の平和で豊かな暮らしの実現に力を尽くしました。井上ひさしが「彼は、近代国家であるなら、すでにあってしかるべきであるのにまだないもの、それをたった一人で実現しようとした」と評したその生涯を、豊富な直筆資料からご覧頂くことができます。

3

緒絶橋

緒絶橋は、大崎市古川を流れる緒絶川に架かる橋。歌枕として和歌に詠み込まれてきましたが、なかでも藤原道雅が前斎宮当子内親王との悲恋を詠んだ「みちのくのをだえの橋や是ならんふみみふまずみこころまどはず」がよく知られています。また、陸奥国へ東征に赴いた嵯峨天皇の皇子を追ってきた恋人の白玉姫が、皇子の行方がわからないことをはかなんで川に身投げをして亡くなってしまったという伝承もあります。



POINT

緒絶橋には、慶応時代の蔵を利用した展示室のある「大崎市民ギャラリー 緒絶の館」が隣接しています。

